

島から沖縄の未来を考える

新春対談企画として、株式会社カルティベート代表の開梨香氏をコーディネーターに、座間味村の宮里村長（沖縄県離島振興協議会会長）と吉住沖縄総合事務局長とのオンラインによる対談を行いました。「島から沖縄の未来を考える」をテーマに、島づくりへの思いや、思い描く未来について伺いました。



宮里 哲 (みやざと・さとる)

座間味村出身。第一経済大卒。平成6年座間味村役場採用。企画課係長、産業振興課係長などを経て平成21年5月の村長選で初当選。現在3期目。沖縄県の離島振興協議会会長、過疎地域振興協議会会長、南部市町村会会長等を務める。

吉住 啓作 (よしずみ・けいさく)

兵庫県出身。沖縄総合事務局長。京大卒。平成2年総務庁採用。大臣秘書官、北方対策本部参事官、内閣官房領土・主権対策企画調整室参事官、内閣府参事官（沖縄総括担当）、内閣府大臣官房会計課長などを歴任。令和元年7月より現職。

開 (比嘉) 梨香 (ひらき (ひが)・りか)

沖縄県出身。株式会社カルティベート代表。琉大卒。インテリア会社等代表として、文化施設や商業施設の展示・内装を手がける。NPO法人日本エコツーリズム協会設立参画後、地域活性化を支援するコンサルティング会社を設立。沖縄海邦銀行社外取締役、沖縄振興審議会総合部会専門委員などを務める。

島々の魅力

開…吉住局長は、就任以来、県内各地を訪問し、とりわけ離島へは頻繁に足を運んでいると伺っています。離島に注目するのはなぜですか。

吉住…就任以来、県内41市町村すべてを訪問し首長と意見交換を行いました。訪問した離島は60か所になりました。沖縄の島々は魅力にあふれ、大きな可能性を感じます。私は以前、北方対策や領土主権対策を担当していました。日本の国土面積は約38万km²で世界第61位に過ぎませんが、排他的経済水域と領海を併せた面積は約447万km²で第6位。世界有数の海洋国家と言えます。離島は、これら領域や海域の保全、海洋資源の利用など重要な役割も担っています。

開…島々の印象はいかがでしたか。

吉住…沖縄の島々には、豊かな自然、歴史、文化があります。人と人とのつながり、自然と共生する暮らし、伝統や文化を守り受け継ぐ心などが今でも大事に残っていて、訪れるたびに新しい発見があります。あまり知られていない魅力ある観光資源が沢山あることに気付きました。県内41市町村全てに足繁く通ううちに、それぞれの地域、島一つ一つに愛しさを感じています。

あまり知られていない 魅力ある観光資源

開…あまり知られていない魅力ある観光資源とは、どのようなものですか。

吉住…例えば、西表にはかつては炭坑の島として栄えた内離島があり、トロッコのレール跡や坑口跡、共同浴場跡などが当時の面影を残しています。久米島にある東洋一美しい砂浜と言われるハテの浜、栗国村にあるダイナミックな景観のヤヒジャ海岸、渡名喜島のもちきび焼酎や伊江島・南大東島のラム酒等の特産品など、資源のポテンシャルが非常に高いと思います。ただ、PRや人材等の不足などから、まだまだ知られていないものが沢山あるように感じます。

開…PR強化と人材確保のために、何かいいアイデアはありますか。

吉住…例えば、栗国村では移住してきた地域おこし協力隊が、地域の魅力のPRや特産品開発など、島の活性化に一役買っています。また昨今、本土の自治体や中小企業では、東京などの大都市圏にいる副業可能な人材を活用する動きが広がっています。都内の外資系製薬会社に勤める社員が月5万円の報酬で地方企業に協力し、収益面での助言に貢献する事例などもあるようです。



ヤヒジャ海岸 (栗国村)



もちきび焼酎 (渡名喜村)



ハテの浜 (久米島町)



内離島の坑口跡 (竹富町)

島づくりへの思い

開…村の最前線に立ち、財政再建や地域活性化に取り組んできた宮里村長ですが、就任時の思いや島づくりへの思いなどについてお聞かせ下さい。

宮里…村長に就任したのは41歳のときです。それまで役場の職員として財政などを担当していました。当時夕張市の破綻があり、座間味村も全国でワーストランキングに入る状況で多くの課題を抱えていました。私自身、子育て中ではありましたが、いろいろ変えていけるところはあるのではないかと思います。就任してからは夕張市の破綻を受け、国でも支援制度を整えていたので、新たな制度を大いに活用することができました。沖縄には「島ちゃび」(離島苦)という言葉があります。離島は、教育、医療、生活面など、沖縄本島と比べて色々なハンディがあります。村長就任当時、もう少しかゆいところ、手が届くような支援策がほしいと思っていたところ、地元の要望なども相まって、自由度の高い一括交付金の制度が設けられました。これを活用し、水道の広域化や船賃の低減、観光振興や農業振興などに取り組むことができました。一括交付金のおかげで、離島を取り巻く環境が非常に変わってきたという印象が

あります。このような時期に村長をさせてもらったことは幸運でしたし、まだまだ足りないところは、引き続きしっかりとやっていきたいと思っています。

島ちゃびの解消のために

開…県内離島の現状をどのようにとらえていますか。

吉住…一部の島を除いて人口減少が著しく、地域社会の維持がどんどん難しくなってきたのが現状のようです。様々な制約から、生まれ育った島を離れざるを得ないという話を聞くときが痛みます。宮腰元沖繩担当大臣が引用される言葉に、「さとうきびは島を守り、島は国土を守る」というものがあります。国土というのは、そこで国民が生活しているという実績があることが重要であり、そのような実績がなくなった島は、領土問題の対象にならかねないことを、私たちは見てきました。離島県である沖縄の振興を考えると、費用対効果だけでは語りきれない部分があると感じています。

宮里…島々の課題は多様ですが、人口をいかに維持するか、あるいは増やしていくかというのが最大のテーマです。人が住むためには、仕事が

あり、生活しやすい環境があることが大前提です。一括交付金は使途が多岐にわたり自由度が高いので、離島自治体にとって大きなメリットがあります。取組の一例として、教育環境の整備があります。ほとんどの島には高校がありません。進学のため子どもを本島へ送り出す親は、経済的にも負担が大きい。母親がその進学に合わせて下の子どもを連れて本島に出ていく家庭も増えていました。一緒に島を出た下の子は島での思い出を作ることができません。将来この子供たちは島に帰ってきてくれるだろうかとの思い。さらに生徒数の減少が複式学級を作り、教職員が減少し人口減につながるといふ負のスパイラルに危機感を感じていました。このような中、思いを同じくする離島の首長と力を合わせて、沖縄本島で進学する離島出身者のための学生寮を県に整備してもらいました。島ちやびは、何よりも大切な教育にも及んでいます。寮から多くの人材が輩出されることを期待したい。これからも島ちやびの解消に向けた取組を進めていきたいと思っています。

より多くの人々に 知ってもらおうための工夫

開…観光振興のために、何かよいアイデアはありますか。

吉住…沖縄の島々には古くから培われてきた文化や芸能、伝統行事が各地域で受け継がれ、今なお暮らしの中に息づいています。島々で語り継がれる歌や踊り、伝統行事や祈り。沖縄に来られる多くの方々にこうした魅力をもっと知ってもらいたいと思います。離島への誘客は滞在日数の増加にもつながります。また、沖縄県全体で一体となってPRするなど、より多くの人々に知ってもらおうための工夫が必要だと思っています。

宮里…全国の自治体では、観光を地域活性化の切り札と位置付け積極的にPRを展開しており、小さな離島が生き残るのは至難の業です。しかし沖縄観光のブランド力は確たるものがあると思います。県、市町村、沖縄観光コンベンションビューロー、民間事業者が連携を深め、情報発信を強化すれば、期待できる成果は得られると思います。

知恵を皆で出し合っていく

開…経済活動と環境保全についての考えをお聞かせください。

吉住…沖縄は豊かな自然や歴史を有する地域です。インフラ整備を進める立場としては、古くて良いものを大切に残しながらということを常々感じています。地域で生活する人にとっては、利便性の向上や生活基盤の整備は必要です。何を守り、何を使うのか分けて整理した上で、いかに環境に負荷をかけず開発していくか知恵を出す。知恵を皆で出し合っていくことが大切であると考えています。

宮里…何を守り、何を使うのか、棲み分けは大切です。自然や文化をしっかりと守ることが、観光振興や経済発展につながるという側面もあります。多くの離島では、移動手段はおおよそ船に頼っており、キャパシティや便数で入域者数をコントロールすることができません。持続可能な島の発展に向けて、保全と活用バランスをいかに取っていくかということが重要なテーマになっています。

市町村の思いに寄り添う

開…地域課題の解決に向けての沖縄総合事務局の取組についてお聞かせください。

吉住…沖縄総合事務局は、国の総合出先機関として、社会資本整備や産業振興に取り組んできました。取組を更に強化するため、昨年4月、沖縄市町村施策支援室を新たに設けました。市町村による施策の企画立案を積極的に後押しし、各種相談に応じていきます。日頃から職員に対しては、可能な限り現場に赴き、市町



村の生の声を聞き、市町村の思いにしっかりと寄り添うようにと話をしています。

宮里…沖縄現地に相談窓口ができたということ、大変便利さを感じています。必要に応じて東京に行って調整していた案件もあり、身近なところで気軽に相談できるといふ点ではメリットが大きく、大いに期待したいと思います。



■ 思い描く未来

開…昭和47年に沖縄が日本に復帰し、沖縄振興がスタートしてから、やがて半世紀になろうとしています。これからの沖縄振興や思い描く未来について、考えをお聞かせください。

吉住…沖縄の本土復帰後、社会資本整備における本土との格差是正は進展し沖縄は大きく発展してきました。他方、県民所得の格差是正、子供の貧困対策など今なお解決すべき課題が存在します。離島、北部など地域ごとの振興、渋滞対策、インフラ整備などは引き続き重要です。日本の少子高齢化、人口減少は続き、財政事情は一層厳しくなります。沖縄、日本を巡る国際情勢も大きく変化します。このような時代に相応しい沖縄振興の在り方を皆で考え、知恵を出し合う必要があります。私は、沖縄総合事務局の仕事は、地域づくりのお手伝いだと思っています。これは単独ではできません。県、市町村、民間事業者、地域住民など多様な主体と積極的につながっていく必要があります。行政、民間が一体となって望ましい未来像を共有し、環境を守りながら、地域を豊かにしていく。皆でこのような取組を進めていくこと

が必要だと考えています。

宮里…大変心強い言葉です。私たちもその思いに添えていかないとけない。沖縄の経済社会は大きく発展してきましたが、人口減少や、経済・産業活動の縮小、財政の悪化などの課題を抱えた地域もあり、まだまだ取り組むべき課題があります。離島地域の首長は、なんとか人口を増やしたい、しっかりとした産業を育てたい、住みたいと思わせるような住環境をつくらないといけないとの強い思いで臨んでいます。

開…本土でも人口減、高齢化は深刻ですが、沖縄の37有人離島の大半が同じ悩みを抱えています。まさに日本の縮図です。小さいからこそ見えやすい離島で、様々な課題解決の取り組みをすることは、日本全体のモデルづくりにもなる気がします。

吉住…ICT技術の進展により、豊かな自然の中での暮らしとリモートワークの両立が可能であり、離島でのワーケーションが注目されています。滞在日数の増加にもつながり、私も関心を持って見えています。離島では、遠隔医療や遠隔教育、バスの自動運転など様々なチャレンジも進ん

でいて注目しています。

宮里…今はコロナ禍ですから、積極的に色々なことにチャレンジしたほうがいいと思っています。ピンチをチャンスに変えていく。次の攻めにつながりますから。

開…本当にそうですね。本日は貴重なお話、ありがとうございました。



高月山第1展望台より慶良間の青い海を望む(座間味村)